

県立工業技術センター研究課題評価シート【平成 30 年度】

[結果報告（外部競争資金）]

No.	研究課題名	研究の概要	提案機関へのアドバイス
	担当部署		
	研究期間		
5	<p>セルロースナノファイバーとゴム材料との複合化技術を活用した環境配慮型超軽量・高機能シューズの開発</p> <p>材料・分析技術部、技術企画部、皮革工業技術支援センター</p> <p>平成 29 年度 (1年間)</p>	<p>近年の靴業界においては、健康ブームが追い風となってウォーキングシューズやランニングシューズ等の市場が大きく伸長してきており、それにともない靴底に用いられるスポンジゴムへの軽量化の要求が高まっている。また、ウォーキングやランニング人口の増大にともない、シューズへの安全性や耐久性の付与も重要視されている。本研究では、次世代のバイオマス素材として注目されているセルロースナノファイバー（CNF）の活用により、靴業界が抱えている技術課題の解決を図り、靴底材の機能性（耐摩耗性、ウエットグリップ性）向上を図る。その際、CNF によるゴムの補強技術と加硫発泡技術とを融合させた業界初の技術によって環境配慮型超軽量・高機能ゴム系靴底の開発を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量化、耐摩耗性の向上をクリアしているので、残る課題であるウエットグリップ性とコストをクリアしていただきたい。 ・独創的でユニークな研究であり、環境に配慮された優れた内容である。社会への大きな波及効果も期待できる。 ・CNF の価格が下がるのを待つより、高付加価値製品に展開すべきである。 ・大きな成果が出ている。 ・コストについては商品化で解決できると思います。 ・うまく宣伝すると用途が広がる可能性がある。 ・スポーツシューズ以外にも応用分野を考えてみると良い。 ・新規のセルロースナノファイバーとゴムの複合材料の開発に成功しており、大きな成果が得られている。 ・今後の地場産業の発展に大きく寄与すると考えられる。